

膵がん増殖遺伝子発見

金大がん研
ベンチャーラボ



金大がん研究所と金大ベンチャービジネスラボフトリの研究チームが、膵がんの増殖にかかわる遺伝子を発見し、癌医学誌「キャンサーリサーチ」七月号に発表した。患者の膵がん細胞でこの遺伝子が活性化していることを確認し、細胞実験でこの遺伝子の働きを止めると、増殖を二分の一に抑制することができた。膵がん治療に向け、この遺伝子をターゲットにした薬剤や治療法の開発が期待できる。

膵がん細胞の増殖に関与している遺伝子発見した(手前から)研究員、藤井助手、田教授
—金大がん研究所

働き止めると速度半減

の膵がん細胞で活性化している遺伝子「Pim-3

3を発見。人の膵がん3%という悪性度の低い膵がん細胞で発現していることを確認し、肝臓がん治療に活用できる可能性が、あることが発表された。

しかし、膵がんは既に多くの治療が確立しているため、治療効果が乏しい膵がん細胞を抑制する遺伝子が多く検出される。膵がん細胞が無限に増殖する。向田教授によると、膵がん細胞の増殖を抑制する薬剤は、全く新しい仕組みで効く治療薬になる可能性がある。将来的には遺伝子治療への応用もありうる。(向田教授)としている。

新薬、治療法

開発に期待

この研究は、金大ベンチャー研究所の藤井千文(チノ)が進めている。ベンチャーラボの助手が、向田直史教授(チノ)の研究チームは二〇〇三(平成十五年)年、マウス

北國新聞

北國新聞社
〒920-8588
金沢市金沢2-7-11 5階1号
電話(076)823-1111
富山本社 電話(076)491-3111
〒930-6520 富山県八尾町5番1号
©北國新聞社 2006年

新村病院

日本赤十字社 富山県立 総合病院
〒920-8588 金沢市金沢2-7-11
TEL:076-823-1111

きょう38ページ

社説
北陸は立き面にハチの危険
日銀の政策判断
11 韓国船が海流調査を開始
36 海風で金沢の夏を涼しく
37 兼六園の玉石洗い消えた

子育てのページ 22
ワイド石川 20 21

http://www.hokkoku.co.jp/